令和８年度　　清原中央小学校　学校評価計画書

※　網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分は評価結果を受けて記入する。

１　教育目標（目指す児童像含む）

児童の心身の発達にふさわしい教育を推進し，豊かな思考力・判断力・表現力を培い，心の教育を重視しながら，強じんな気力・体力と思いやりのある心や自主的精神に満ちた実践力を身に付け，自らの向上とより良い社会の発展に貢献しようとする，心豊かでたくましく生きようとする人間を育成する。

◇ 具体目標（目指す児童像）◇

１　自ら学びくふうする子ども　　（考える）
２　元気でがんばる子ども　　（鍛える）
３　礼儀正しく思いやりのある子ども　（思いやる）

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

児童指標・合言葉　「 夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小 」　～考える　鍛える　思いやる～

心豊かでたくましい子どもの育成には，子どもが生き生きと楽しく学習や活動に取り組み，明るく活気のある学校づくりが重要であることから，目指す学校像を次のとおり定める。

目指す学校像１　「子どもが楽しく学び，居がいを感じる学校」
目指す学校像２　「教職員が協働し，指導力を発揮する学校」
目指す学校像３　「保護者・地域から信頼される，魅力ある学校」

３　学校経営の方針（中期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に〇印を付ける。

全職員が学校教育目標の共通理解に努め，調和の取れた教育活動を展開し，合言葉や具体目標の重点化を通して，教育目標の具現化に努める。

（１）常に「全ては子どものために」を念頭に置き，一人一人が清原中央小学校の職員であることの自覚と誇り，危機管理意識をもって勤務し，公務員及び教職員としての資質や指導力の向上に努める。

（２）職員一人一人が率先垂範の精神で児童の教育にあたり，その姿勢を通して児童に学ぶ意欲や思いやりの心を育てる。また，一人一人の児童の夢を育む教育活動「夢いっぱいプロジェクト」について継続的な推進を図るとともに，確かな学力，個性を生かした教育と生きる力の育成に努める。

（３）〇地域学校園内の小中学校はもとより，保護者や地域社会，各種団体との連携を密にし，地域の教育力を生かし，地域に開かれた信頼される学校にする。

【清原地域学校園教育ビジョン】

自己を見つめ，自己のよさを生かした『夢』の実現に向けて主体的に取り組む児童生徒の育成
～人や地域との豊かなかかわりを通して～

４　教育課程編成の方針

（１）本校教育課程は，日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則，小学校学習指導要領，並びに栃木県教育振興基本計画 2025 や「宇都宮市第２次学校教育推進計画後期計画」・「清原学校園教育ビジョン」に基づき，創意ある教育課程を編成する。

（２）本校教育目標・経営方針や努力点・学校課題等を踏まえ，「学校マネジメントシステム」による学校評価結果を反映させながら，地域社会や保護者の願い，児童の実態･特性，学校の施設・設備，職員組織の実態等を十分考慮して，心豊かでたくましく生きる児童の育成を目指して編成する。

（３）地域と連携しながら全教育活動を有機的に関連させ，「深い学び」を実現することを目的としたカリキュラムマネジメントを働かせる。また，モジュールの有効活用等により，確かな学力を身に付けるための適正な時数の確保に努めるとともに，子どもと向き合う時間を確保するための業務改善を図る。その際，学習指導要領における「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力，人間性等」の資質・能力を一人一人の児童が確実に身に付けられるようにすることを目指して編成する。

（４）児童の自主的・実践的活動や体験的な活動を多く取り入れた特色ある教育活動が展開できるよう編成する。なお「社会に開かれた教育課程」の観点から地域等の意見の反映にも努める。

５　今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に〇印を付ける。

【　学　校　運　営　】
・児童，職員にとって楽しく居がいとやりがいのある，活力ある学校づくり
・教員の危機管理能力の向上と教員としての感性を磨く意識の向上
〇地域との豊かなかかわりを通した小中一貫教育の実施

【　学　習　指　導　】
・自分の考えをもち，豊かに表現する児童の育成（ICT 機器を有効に活用した授業づくり）
◯地域の教育資源等を有効に活用し，清原地域への親しみを育む教育活動の展開
・基礎基本の定着に向けた教材研究，授業改善や「はっきり」「じっくり」「すっきり」を意識した授業改善
・小学校高学年の教科担任制推進

【児童生徒指導】
・時と場に応じて，自ら進んであいさつができ，思いやりを行動で表し，積極的に友達と関わり合える児童の育成
・積極的な教職員間の情報共有による，いじめ等問題行動の早期発見，初期対応の迅速化
〇児童生徒指導連絡協議会等を通した校種間の情報交換の充実

【健康（体力・保健・食・安全）】
・自らの健康・体力の維持向上に関心をもち，生涯にわたって健康で安全な生活をしようとする児童の育成
・学校医と連携した，虫歯や視力低下等の予防に関する意識の向上

６　自己評価　A1～A21は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に〇印または該当箇所に下線を付ける。

第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評　価
１－（１）確かな学力を育む教育の推進	Ａ１　児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答８０％以上	・授業のねらいを明確にし，考える時間を確保したり，授業形態を工夫したりするなどして，児童が積極的に学習に取り組めるよう支援する。 ・グループ学習や話合い活動を積極的に取り入れることで，自信をもって発表したり，意欲的に学習に取り組んだりできるように支援する。 ・学校便りや学校ホームページ等で児童の日々の学習の様子を掲載し，保護者に発信していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（２）豊かな心を育む教育の推進	Ａ２　児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答９０％以上	・清掃活動や学校行事などに縦割り班活動を積極的に取り入れ，上級生が下級生の面倒をみる場を設定する。また，清掃班編制を２回とし，交流の機会を広げる。 ・道徳科の授業と全教育活動との関連を図り，思いやりのある豊かな心情を育む。また，思いやりと感謝についての生活目標を設定する回数を増やし，児童への意識付けを行う。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ａ３　児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答８５%以上	・夢プロコーナーを充実させ，委員会活動でも夢いっぱいプロジェクトに関する活動を実施する。 ・学級懇談会で夢プロジェクトの取組みについて保護者に周知する。 ・児童が活躍する場を工夫したり，実情に応じて児童が活動できることを提案したりするように努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（３）健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答９０%以上	・保護者や地域のスクールガードと連携を図りながら，児童が健康安全を意識した行動を習慣化できるようにする。 ・指導に関する環境を整えるとともに，むし歯予防への意識を高めていく。 ・保健便りなどの各種便りについて，さくら連絡網を活用し，保護者に情報を発信していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（４）将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　児童は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答 ９０%以上	・「夢いっぱいプロジェクト」の活動を通して，目的意識や活動の意義を児童がより深く認識できるようにする。 ・夢やめあてを表すときに，具体的に数値化することで，目標を明確にし，より高い目標に向かう児童の姿を目指す。 ・縦割り班，登校班などの異学年交流で，上学年が下学年のために何ができるか考える機会をもつ。下学年は，上学年に対して憧れをもてるような機会を設け，学級担任が助言を行う。 ・教科や学級活動の授業において，児童が自分たちの生活をよりよくしようとする意識を高めるような言葉かけを行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
２－（１）グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答 ８５%以上	・ＡＬＴと事前に打合せを行い，役割分担を明確にすることによって，ねらいに沿った授業を展開する。 ・給食時にＡＬＴとの会食や英語の歌などに触れさせ，授業以外でも英語に親しむ機会を設ける。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ａ７　児童は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答８０％以上	・生活科や社会科,「宇都宮学」を中心に，継続して，宇都宮市全体や他地区との比較検討をすることで理解を深めることができるようにする。 ・清原の豊富な地域の教材を活用した学習を様々な教科において展開する。 ・学校便りや学年便り，学校ホームページ等を利用して，児童が宇都宮についての学習を行っていることを周知していく。 ・給食の献立について，郷土料理などの提供回数を増やし，地域の食材や料理を児童に周知していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
２－（２）情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	Ａ８　児童は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答８５％以上	・校内読書週間を実施し，本に触れる機会を確保し，各教科での調べ学習等にも活用するなど，自分が興味ある種類の本以外も積極的に読めるように促す。 ・校内研修で学んだことなどを授業に生かして,AI ドリルなどタブレットを活用する機会を更に増やし，コミュニケーションのツールとしても有効に活用していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
２－（３）持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	Ａ９　児童は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答８０％以上	・物を大切にする心を育むために，自分の持ち物への記名を指導する。 ・学校生活の中でフードロス削減や節水等の SDGs に関する取り組みについての指導を行い，児童の意識を高める。 ・学校図書館司書と連携し，「持続可能な社会」についての書籍を取り揃え，授業の中でも活用していく。 ・「ナルクの会」に協力し，どんぐりの育成活動を継続して行う。 ・給食委員会の「牛乳パック回収」などを通し，環境への意識や思いやる心を高める。 ・児童が作成した啓発ポスターを掲示する等の活動ができるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
３－（１）インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答８５％以上	・校内支援委員会，月１回の情報交換会等を通して，管理職・学年の教員・教育相談担当教員・特別支援担当教員・ＳＣ等，と連携・協力して児童一人一人のニーズや悩みを把握して早期発見，解決に努める。 ・継続的に組織的な対応を行い，情報の共有・引継を確実に行う。		【達成状況】 【次年度の方針】

3－（2） いじめ・不登校対策の充実	A11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答８５％以上	・いじめゼロ強調月間の活動でいじめゼロ標語を作成する際，保護者と一緒に考えることとする。クラス代表作品は校舎内に掲示し，保護者にも知らせる。 ・道徳の授業参観等を機会に，学校での指導を保護者に積極的に発信する。 ・教育相談，生活アンケート，いじめゼロ集会等の取組を継続するとともに，学校便り等を活用し，校内での取組を積極的に発信する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答９０%以上	・担任，学年だけでなく，全職員で児童を見ていくという意識を高めて，連携を密にしていく。 ・ＨＰや学校だより，学級懇談会の機会を通して，不登校対策についての取組を保護者・地域に情報提供していく。 ・教育センターやスクールカウンセラー等との連携を深め，当該児童への学習面や生活面，保護者へのサポートを更に充実させていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
3－（3） 外国人児童生徒等への適応支援の充実 3－（4） 多様な教育的ニーズへの対応の強化	A13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答９０%以上	・「夢いっぱいプロジェクト」の実践を通して，児童一人一人が自己実現の喜びを実感できる学級経営を推進する。 ・ドリームタイムや児童会活動等を通して良好な人間関係づくりに努め，より主体的に人と関わる力を醸成していけるようにする。 ・学校便りや学校ホームページ等を通して，学校の取組を保護者や地域に情報発信し，理解と協力を求める。		【達成状況】 【次年度の方針】
4－（1） 教職員の資質・能力の向上	A14　教職員は，分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答９０%以上	・モジュールの時間に効率よく学習できるように，引き続き課題の質・量・手立て等を工夫しながら支援していく。学年で計画を立てて，学習の見通しをもたせる。 ・少人数指導や特別支援教育担当等と，学級担任等の連携を深め，より個に応じた指導の充実が図られるようにする。 ・個人懇談や学級懇談会の折に，保護者からの要望を聞くようにし，学習指導に生かせるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】

４－（２） チーム力の向上	Ａ15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答９０％以上	・個々の役割と責任を明確にした上で，複数配置による主務者の負担軽減，相互に協力しながら業務を行う。 ・かがやきルーム指導員，学校図書館司書，日本語ボランティア，ＳＣ，ＡＬＴ，ＩＣＴ支援員等の学校スタッフと積極的に情報交換を行い，教育活動が効率的に機能するよう取り組む。		【達成状況】 【次年度の方針】
４－（３） 学校における働き方改革の推進	Ａ16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答９０％以上	・日課の見直しや，打合せと会議の抱き合わせ実施など可能な取組を次年度も継続し，業務改善の意識を高めていく。 ・学校の取組を情報発信して，保護者や地域の理解を得るとともに，ボランティアの協力による支援も含めた業務の効率化を進めていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ17　児童と向き合う時間を確保できている。 【数値指標】	・学年便りの簡素化など，改善を図っていけるところを見出しながら，引き続き事務的な業務の効率化を推進する。 ・業間や昼休みに行事や打合せ等を入れないようにし，子供たちと触れ合う時間を確保する。 ・事務支援制度を効果的に活用し，事務的な負担の軽減に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
５－（１） 全市的な学校運営・教育活動の充実	Ａ18　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ６年児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答８５％以上	○６年児童の進学先中学校訪問，児童生徒指導強化連絡会を通して，小中学校の情報交換を密に行うことで，６年児童の中学校進学をスムーズに行う。 ・中学生と合同のあいさつ運動や要請訪問での授業をお互いに公開し合うことで，学校園としての一体感を高める。 ・６年生は中学校ＳＣとの面談が可能となるため，中１ギャップへの対策も含め，積極的に活用を促し，地域学校園の教育力を生かしていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
５－（２） 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 ５－（３） 地域と連携・協働した学校づくりの推進	Ａ19　学校は，家庭・地域・企業等と連携･協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答９０％以上	・地域協議会やＰＴＡと連携し，ボランティアの協力を効果的に得ながら教育活動の充実を図る。 ・「宇都宮学」を含めた総合的な学習の時間の指導計画を見直し，地域教材を有効に活用していくことができるようにする。 ・収穫祭や昔遊び体験など，地域との連携を図りながら，児童にとって有意義で充実した活動を継続，実施していく。		【達成状況】 【次年度の方針】

６－（１） 安全で快適な学校施設整備の推進	Ａ20　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員・保護者・地域の肯定的回答９０％以上	・月１回の安全点検を着実に実施し，危険個所を発見した場合は速やかに修繕する。 ・学校での安全に関する活動を保護者や学校施設利用者に知ってもらえるように，事前に周知徹底を図り、未然防止に努める。 ・校庭の遊びの決まりを見直して周知を図るとともに，委員会活動において，校内のけがや事故の発生場所を「けがマップ」に表すなど，児童と共に校内の安全管理に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
６－（２） 学校のデジタル化推進	Ａ21　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答８５％以上	・各教科において，児童一人一人が常にタブレットを活用できる体制を整え，ICT 支援員を有効に活用し，授業の充実に努める。 ・調べ学習だけでなく，ペア・グループ学習でもタブレットを活用し，話合いによって深い学びになるように努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等	Ｂ１　児童は，時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答８５％以上	○常時指導を強化するとともに，状況を鑑みながら児童会主体の「あいさつ運動強化週間」を実施する。また，清原地域学校園，地域協議会，ＰＴＡと連携・協力してあいさつ運動を展開する。 ・「手のひらあいさつ」に込められた意味，意義を周知し直し，活動の浸透を図る。 ・スクールガード等，地域の方にあいさつや会釈等ができるよう，班長会議を機会に具体的な場面を想像させた指導を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ２　児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。 【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答９０％以上	・社会のきまりはもとより，本校の学習や生活のきまりを守りながら，望ましい行動習慣の形成を促すとともに，児童の望ましい行動や，よくできたことを称賛する機会を日常的に設ける。 ・学校教育目標と関連を図って週の生活目標を設定し，児童の実態や時期に応じた基本的な生活習慣（重点目標）の徹底を図るともに，保護者の協力を得る。 ・キャリアパスポートを活用し，自分の学習や生活を振り返る機会を確保するとともに，実態を把握し必要な指導を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ｂ３　児童は家庭学習の習慣が身に付いている。 【数値目標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答７５％以上	・「清原っ子の約束」「清央っ子の約束」「家庭学習のすすめ」を参考にして，低学年から自主学習に取り組ませていく。 ・「カテ学ふり返り週間」を定期的に設定し，家庭と協力して家庭学習の質を高めていく。		
	Ｂ４　教職員は清央 PRIDE を胸に，信頼される学校づくりに向け，協働して教育活動に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答９０％以上	・学校課題に基づいて，研究のねらいを明確にしながら協働的に研究を進める。 ・一人一授業を公開し，児童の学びの姿を参観し合い，指導法について意見を交わすことによって授業改善に努める。 ・全国学力テスト，学習内容定着度調査，とちぎっ子学習状況調査等の結果を分析し，校内研修等で検討することにより，引き続き指導内容や指導方法の工夫改善を行っていく。		

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

8　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。